

# 大型気化式冷風機 HaiLan ハイラン

## 取扱説明書

型式  
HP24BX  
HP36BX



※ 写真は HP36BX です

この取扱説明書をよくお読みいただき、  
正しくお使いください。

ご使用の前に、「安全上のご注意」を  
必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる  
場所へ、大切に保管してください。

本書内容に関しては、製品改良のため  
予告なしに変更することがあります。

## もくじ

ページ

安全上のご注意 1

各部の名称 3  
・ 本体  
・ 操作パネル

本製品の特徴 5  
・ 気化式冷風機のしくみ  
・ 運転モードについて

運転の準備 6  
・ 電源と電線について  
・ 冷却パッドについて  
・ 設置場所について  
・ 給水について

運転のしかた 8  
・ 運転のしかた  
・ 切タイマーの 設定/解除 について

運転終了時は 10  
・ 排水について

お手入れのしかた 11  
・ 日常のお手入れ  
・ 長期間ご使用にならないとき

故障かな?と思ったら 13

保証とアフターサービス 14

仕様 15

# 安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

●誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

|                                                                                             |                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
|  <b>警告</b> | 死亡または重傷を負うおそれがある内容   |
|  <b>注意</b> | 怪我や財産に損害を受けるおそれがある内容 |

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

|                                                                                               |             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
|  <b>禁止</b>   | してはいけないこと   |
|  <b>必ず実施</b> | しなければならないこと |

## 警告



**定格電圧（100V・50/60Hz）以外で使用しない。**

表示以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



**電源プラグ・コードを破損するようなことをしない。**

（傷を付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重い物を載せる、キャストで踏むなどしない。）

火災や感電の原因になります。



**吸込口（冷却パッド）や吹出口に指や異物（ピン・針金・棒など）を入れない。**

けがや感電、故障の原因になります。



**冷却パッド、ファンガードを取りはずした状態で運転しない。**

ファンに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。



**運転中は本体にふれない。**

ファンに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。



**ぬれた手で操作しない。**

感電の原因になります。



**熱源の近くに置かない。**

樹脂部分がとけて、引火するおそれがあります。



**引火性の危険物（ガソリンやシンナーなど）の近くで使用しない。**

爆発や火災の原因になります。



**改造しない。修理技術者以外の人は、分解や、修理をおこなわない。**

火災や感電、けがの原因になります。



**使用する電源と電線は、本書の指示にしたがう。（6ページ参照）**

誤った電源・電線を使用すると、火災のおそれがあります。



**アースを必ず正しく取り付ける。**

アース線の接続が誤っている場合は、感電のおそれがあります。

水道管、ガス管、避雷針、電話のアース線に取り付けしないでください。

火災や爆発、感電のおそれがあります。



**電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭きとる。**

ほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災のおそれがあります。



**清掃や点検・修理の際は、電源プラグをコンセントから抜いて作業する。**

電源プラグを抜かず作業すると、感電や漏電、けがのおそれがあります。



**異常時（煙が出る、非常に熱くなる、異音がするなど）はすぐに運転を停止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。**

異常のまま運転を続けると、火災や感電、けがなどの原因になります。



**修理はお買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。**

修理に不備があると、火災や感電、けがなどの原因になります。

## ⚠ 注意



禁止

モーターやファンに直接水をかけない。  
(防水仕様ではありません)  
直射日光の当たる場所・水のかかりやすい  
場所で使用しない。

火災や感電、漏電、故障の原因になります。



禁止

傷の付きやすい床や凸凹のある場所、  
毛足の長いじゅうたんの上での移動は、  
キャスターを使用しない。

床面や、じゅうたんを傷めるおそれがあります。



禁止

本体を倒したり、落としたりしない。  
本体を横にした状態で保管・移動しない。  
(横置き禁止)

破損や漏水、漏電、故障の原因になります。



禁止

油・可燃性ガスの漏れるおそれのある  
場所へ設置しない。

万一漏れて本体の周囲にたまると、  
発火の原因になります。



禁止

テーブルの上など高い場所へ設置しない。

本体が落下したとき、けがの原因になります。



禁止

換気が不十分な、閉めきった狭い室内で  
使用しない。

湿度が過度にあがり、カビ発生などの弊害が生じる  
おそれがあります。また、冷却能力が低下します。



禁止

製品の上に物を置かない。

転倒や落下により、けがや故障の原因になります。



禁止

製品の上に乗ったり、もたれたりしない。

移動や転倒などにより、けがの原因になります。



禁止

ポンプの水なし運転(空運転)をしない。

水位が下がると保護機能が働き、ポンプは自動停止  
しますが、故障や耐用年数を縮める原因になります。



禁止

タンクの水を飲料水・飼育用などに  
再利用しない。

健康を害するおそれがあります。



禁止

お子様を製品に近づけない。

思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



禁止

電源プラグを抜くとき、電源コードを  
引っばらない。

電源プラグを持って抜いてください。  
破損の原因になります。



必ず実施

水ハネしても問題のない場所に設置する。  
冷風運転・温度設定運転では、  
水ハネがおこることがあります。



必ず実施

万が一に備え、漏水しても問題のない  
場所に設置する。

漏水した場合、タンク容量が大きいため、  
被害が広範囲におよぶおそれがあります。



必ず実施

平坦で、満水時の重量  
(HP24BX : 約 200kg、  
HP36BX : 約 310 kg、) に  
耐えうる場所へ設置し、キャスターを  
ストッパーで固定し使用する。

本体が倒れると、水がこぼれて周辺を濡らしたり、  
感電や漏電、火災の原因になります。  
また、大風量のため、運転中に本体が移動する  
おそれがあり危険です。



必ず実施

壁などから 1 m 以上離れた場所へ  
設置する。

本体の周囲に十分な空間が無い場合、吸気を妨げ  
運転音が高くなったり、モーターが過負荷で  
焼損する原因になります。



必ず実施

給水には水道水を使用する。

井戸水や雨水、工業用水などを使用すると、  
藻や細菌が増殖しやすく、冷却効率が悪くなったり  
悪臭が発生するおそれがあります。



必ず実施

自動給水で使用する場合、  
給水配管接続は確実におこなう。

接続に不備があると、周辺を濡らし漏電のおそれが  
あります。



必ず実施

自動給水で使用する場合、  
日々の運転終了時に水道栓を閉める。

水道栓を開けたまま放置すると、  
水漏れのおそれがあります。



必ず実施

清掃や点検・修理の際は、  
手袋をはめ慎重に作業する。

本体や冷却パッドの縁などで、  
けがをするおそれがあります。



必ず実施

冷却パッドの 取り付け/取りはずし は、  
乾かしてからおこなう。

濡れた状態は壊れやすいので、乾かしてから  
作業してください。



必ず実施

同じ場所で長期間ご使用になる場合は、  
製品下部や周辺の床や壁などを  
ときどき清掃する。



必ず実施

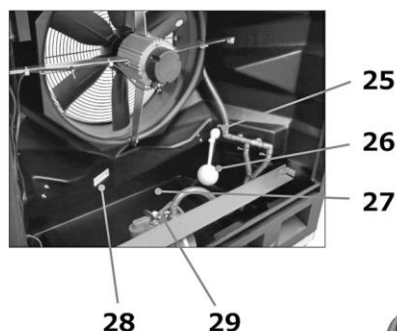
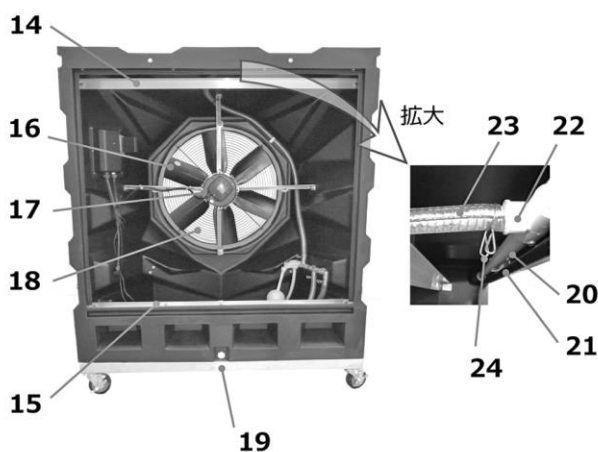
移動するときは運転を停止し、  
排水してからおこなう。

タンクの水がこぼれて室内を濡らしたり、  
感電や漏電、火災の原因になります。  
また、キャスターに負荷がかかり破損するおそれが  
あります。

# 各部の名称

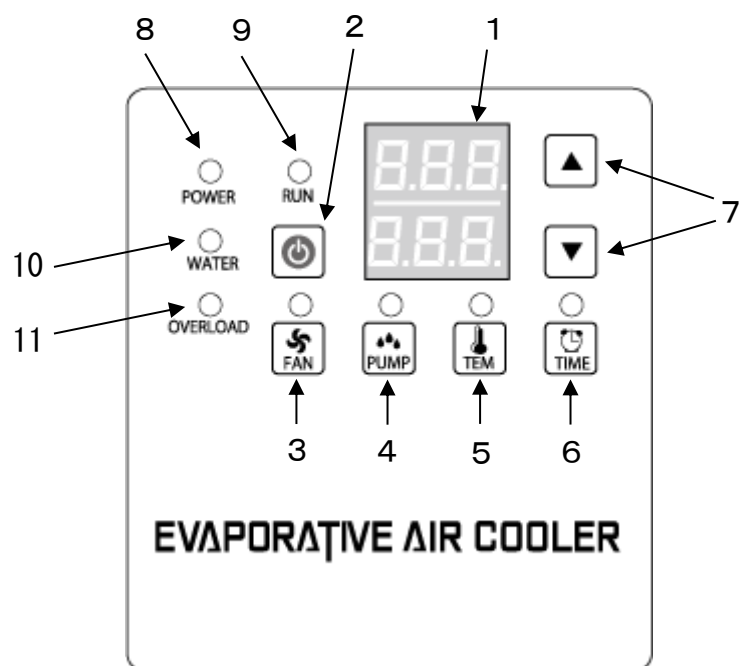
## 本体

| 図番 | 名称                                   |
|----|--------------------------------------|
| 1  | 外装部                                  |
| 2  | 循環水量調節バルブ                            |
| 3  | 排水バルブ                                |
| 4  | 給水ホースアダプター                           |
| 5  | フック                                  |
| 6  | キャスター<br>(ストッパー付、無し 各2個)             |
| 7  | 冷却パッド固定板                             |
| 8  | 冷却パッド固定板ネジ                           |
| 9  | 冷却パッド                                |
| 10 | 操作パネル                                |
| 11 | 電源コード 約 4.5m                         |
| 12 | 電源プラグ                                |
| 13 | 支持フレーム                               |
| 14 | 冷却パッド受け (上)                          |
| 15 | 冷却パッド受け (下)                          |
| 16 | ファン (HP24BX : 6 枚、HP36BX:3 枚)        |
| 17 | ファンモーター                              |
| 18 | ファンガード                               |
| 19 | 排水キャップ (パッキン付)                       |
| 20 | 散水パイプ                                |
| 21 | 散水パイプホルダー                            |
| 22 | ホース接続口                               |
| 23 | ホース                                  |
| 24 | クリップ                                 |
| 25 | フロートバルブ                              |
| 26 | フロート                                 |
| 27 | タンク                                  |
| 28 | 水位線                                  |
| 29 | ポンプ (異物吸込防止袋付)                       |
| 30 | 給排水ホース 6m (付属品)<br>(ニップル、ワンタッチカプラー付) |



※ 写真は HP24BX です

## 操作パネル



| 図番 | 名称                    | 説明                              |
|----|-----------------------|---------------------------------|
| 1  | 表示部                   | ファンの運転速度（%）、温度、切タイマーの設定時間を表示します |
| 2  | 電源ボタン                 | ボタンを1回押すごとに 入 / 切 します           |
| 3  | FAN（ファン） ボタン / ランプ    | ボタンを押すとランプが点灯し、ファンが回転します        |
| 4  | PUMP（ポンプ） ボタン / ランプ   | ボタンを押すとランプが点灯し、ポンプが運転します        |
| 5  | TEM（温度） ボタン / ランプ     | 温度設定運転に使用します                    |
| 6  | TIME（切タイマー） ボタン / ランプ | 切タイマーを設定するときに使用します              |
| 7  | ▲▼ボタン                 | 運転速度（%）、温度、切タイマーの設定に使用します       |
| 8  | POWER（電源） ランプ         | 電源を入れると点灯します                    |
| 9  | RUN（運転） ランプ           | 電源を入れると点灯します                    |
| 10 | WATER（水位） ランプ         | ※仕様変更のため使用しません                  |
| 11 | OVERLOAD（過負荷） ランプ     | モーターが過負荷状態になると、警告のために点滅します      |

# 本製品の特徴

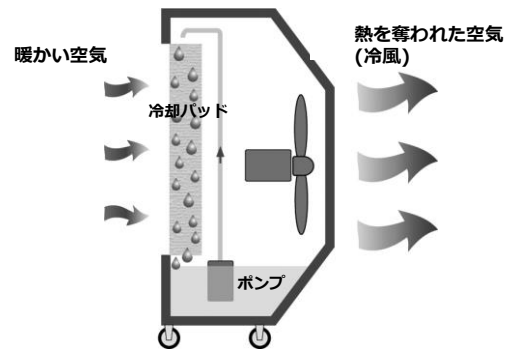
## 気化式冷風機のしくみ

液体の物質が気体になるとき、周囲から熱を吸収します。

お風呂あがりに体がぬれたまましていると寒くなる経験や、暑い日に "打ち水" をすると涼しくなるのは、このためです。

気化式冷風機 ハイランは、水の気化放熱、つまり水が蒸発するときに熱をうばうという性質を利用し、冷風を送り出します。

〈 気化放熱式冷却のイメージ 〉



## 運転モードについて

本製品には3つの運転モードがあります。それぞれについて説明します。

|          |                                                                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 冷風運転   | ファンとポンプを運転し、冷却パッドに水を供給します。<br>気化放熱の原理を利用し冷却する運転モードです。                                                                       |
| ② 送風運転   | ファンのみ運転し、送風を行う運転モードです。                                                                                                      |
| ③ 温度設定運転 | 設定温度に合わせ、冷風運転と送風運転を自動で切り替える運転モードです。<br>気温より設定温度が高い場合は、運転が停止することもあります。<br>※ 本製品は気化放熱式冷却ですので、<br>設定温度までの冷却を必ずしも保証するものではありません。 |

# 運転の準備

## 電源と電線について

### <HP24BX>

電源：100V 10A

配線する場合は、アース付 断面積  $2\text{mm}^2$  以上 または、  
単線 直径 1.6mm 以上の電線を使用し、電源に直接接続してください。

### <HP36BX>

電源：100V 15A

配線する場合は、アース付 断面積  $3.5\text{mm}^2$  以上の電線を使用し、  
電源に直接接続してください。

- ※ 電気容量に十分注意し、延長コードは使用しないでください。
- ※ 電源プラグを使用せず電源に直接接続する場合、  
電気工事は必ず専門の業者に依頼してください。

## 冷却パッドについて

開梱時および運転初期は、冷却パッド（原料：セルロース）に含まれる樹脂の臭いがすることがあります。  
数日、冷風運転を行うと次第に減少します。タンク内の水を頻繁に交換すると、より早く解消されます。

## 設置場所について

満水時の重量は HP24BX：約 200kg、HP36BX：約 310kg になりますので、  
重量に耐えうる水平で丈夫な場所へ設置してください。

冷風機背面の空間は、壁面より 1m 以上とってください。

冷風運転・温度設定運転では、水ハネがおこることがありますので、  
水ハネがおこっても問題のないところに設置してください。

万一に備え、漏水しても問題のないところに設置してください。

設置後は、必ずキャスターのストッパーを使用し、動かないよう固定してください。

本製品は、気化放熱の原理を利用し冷却しますので、湿度の高い設置場所では能力が低下します。  
空気の流れを作るように、排気換気扇と対向する位置に設置すると効率よく運転します。

次のような場所での使用は避けてください。

| 使用が不適切な場所              | 理由                               |
|------------------------|----------------------------------|
| 閉めきった狭い空間や、換気設備が不十分な場所 | 湿度が過度に上昇することがあります。               |
| 設置面が斜面など、不安定な場所        | 水平にしないと漏水やポンプ揚水不良の原因となります。       |
| 冷風機の背面に十分なスペースがとれない場所  | 空気の吸込み抵抗が大きく、モーターが過負荷になることがあります。 |
| 水ハネが重大な問題をおこす場所        | 冷風運転・温度設定運転では、水ハネがおこることがあります。    |
| 漏水が重大な問題をおこす場所         | 給水接続や取り扱いに不備があると、漏水することがあります。    |
| 油分や粉じんが浮遊する場所          | 耐用年数を縮めたり、故障の原因になります。            |
| 腐食性ガスや金属製のホコリが発生する場所   | 耐用年数を縮めたり、故障の原因になります。            |

## 給水について

危険ですので、電源プラグをコンセントから抜き、電源を切った状態で作業してください。

給水には、必ず水道水を使用してください。

給水方法は、「自動給水」と「手動給水」の2通りあります。

いずれの方法で給水する場合も水漏れ被害を防ぐため、

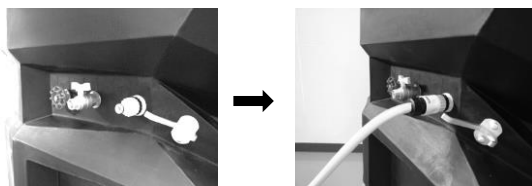
排水キャップと排水バルブが完全に閉まっていることを確認してから給水してください。

また、給水中は給水状態を観察し、異常があればすぐに中止してください。

送風運転でのみ使用する場合は、給水の必要はありません。(運転モードについては、5 ページ参照)

| ① 自動給水 |                                                                                                   |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1      | 給水ホースアダプターと水道栓に<br>付属の給排水ホースを接続する。<br>給水ホースアダプターと水道栓にニップルを<br>取り付け、ワンタッチカブラーで給排水ホースを<br>つないでください。 |
| 2      | 水道栓を開く。<br>水道栓を開くと、タンク内のフロートバルブが<br>水位を調節しながら給水します。                                               |

付属の給排水ホースを接続してください。



| ② 手動給水 |                                                                                 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1      | 冷却パッドを1つ取りはずす。<br>(取りはずし方は11 ページ参照)                                             |
| 2      | 冷却パッドを取りはずした場所から<br>タンク内の水位線まで給水する。<br>ガーデンホースで水を直接タンクへ入れるか、<br>バケツなどを使用してください。 |



**水を入れすぎない。**

手動給水は高い位置まで水を入れることが  
できますが、入れすぎるとあふれます。



必ず実施

**取りはずした冷却パッドは運転前に  
元の位置へ取り付ける。**

ポンプが水なし運転（空運転）にならないよう、  
水位をこまめに確認する。

# 運転のしかた

## 1. 電源を入れる

| 電源の入れかた |                                                                                          |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1       | 電源プラグをコンセントに差し込み、<br>「電源ボタン」を押す。<br>操作パネル上の全てのランプが点灯し、数秒後に<br>「POWER」、「RUN」以外のランプは消灯します。 |

## 2. 運転モードを選択する（運転モードについては、5 ページ参照）

| ① 冷風運転 |                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------|
| 1      | 「PUMP ボタン」を押す。<br>PUMP ランプが点灯し、ポンプが運転します。<br>しばらくすると、冷却パッドに水を供給します。 |
| 2      | 「FAN ボタン」を押す。<br>FAN ランプが点灯します。ファンが回転します。                           |
| 3      | 「▲▼ボタン」を押し、風量を設定する。<br>▲を押すと増え、▼を押すと少なくなります。<br>50～100%の範囲で設定できます。  |

| ② 送風運転 |                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------|
| 1      | 「FAN ボタン」を押す。<br>FAN ランプが点灯します。ファンが回転します。                          |
| 2      | 「▲▼ボタン」を押し、風量を設定する。<br>▲を押すと増え、▼を押すと少なくなります。<br>50～100%の範囲で設定できます。 |

| ③ 温度設定運転 |                                                                        |
|----------|------------------------------------------------------------------------|
| 1        | 「PUMP ボタン」を押す。<br>PUMP ランプが点灯し、ポンプが運転します。<br>しばらくすると、冷却パッドに水を供給します。    |
| 2        | 「FAN ボタン」を押す。<br>FAN ランプが点灯します。ファンが回転します。                              |
| 3        | 「TEM ボタン」を押す。<br>TEM ランプが点灯し、表示部の上段に現在の気温、<br>下段に設定温度を表示します。           |
| 4        | 「▲▼ボタン」を押し、温度を設定する。<br>▲を押すと上がり、▼を押すと下がります。<br>10～40℃の範囲で、1℃単位で設定できます。 |

運転モードを変更するときは、一旦、運転を停止し、  
電源を入れなおしてから、ご希望の運転を  
おこなってください。

## 3. 電源を切る（停止する）

| 電源の切りかた（停止のしかた）    |                                                 |
|--------------------|-------------------------------------------------|
| 「冷風運転」または「送風運転」のとき |                                                 |
| 1                  | 「電源ボタン」を押す。<br>全てのランプが消灯し、電源が切れます。<br>運転が停止します。 |
| 「温度設定運転」のとき        |                                                 |
| 1                  | 「TEM ボタン」を押す。<br>TEM ランプが消灯します。                 |
| 2                  | 「電源ボタン」を押す。<br>全てのランプが消灯し、電源が切れます。<br>運転が停止します。 |

冷風運転・温度設定運転では、運転時に水ハネがおこることがありますので、注意してください。  
水ハネがひどい場合は、冷却パッドへ供給する水の量を調節してください。  
水の量は、本体側面下部の循環水量調節バルブ（赤）で加減できます。（工場出荷時は最小）  
バルブを右へ回すと増え、左へ回すと少なくなります。

タンクの水が不足すると、ポンプが停止し、冷却パッドへの水の供給が止まります。  
「電源ボタン」を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、  
水位線まで給水してから、運転を再開してください。

# 切タイマーの 設定/解除 について

本製品には、設定した時間に電源が切れる「切タイマー」の機能があります。  
設定と解除のしかたを説明します。

## 切タイマーの設定

運転中に設定してください。

|   |                                                                                  |
|---|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <b>「TIME ボタン」を押す。</b><br>表示部の下段に時間（分）を表示します。<br>初期設定は 60 分です。                    |
| 2 | <b>「▲▼ボタン」を押し、時間を設定する。</b><br>▲を押すと増え、▼を押すと少なくなります。<br>5～600 分の範囲で、5 分単位で設定できます。 |
| 3 | <b>「TIME ボタン」を長押しする。</b><br>TIME ランプが点滅したら、設定完了です。                               |

切タイマー設定中に「TIME ボタン」を押すと表示部の表示が切り替わり、  
冷風運転・送風運転のときは設定風量（%）、温度設定運転のときは現在の気温と設定温度を確認できます。  
再度「TIME ボタン」を押すと、残り時間の表示にもどります。

## 切タイマーの解除

|   |                                                            |
|---|------------------------------------------------------------|
| 1 | <b>切タイマー作動中に「TIME ボタン」を長押しする。</b><br>解除すると、TIME ランプが消灯します。 |
|---|------------------------------------------------------------|

# 運転終了時は

自動給水の場合、水道栓を閉めてください。

冷却パッドが濡れているときは、送風運転をおこない、内部まで乾かしてください。  
都度、乾かすことで悪臭の発生を防ぎ、冷却パッドが長持ちします。

日々の運転終了時には、タンク内の水を排水してください。  
排水せずに長期間使用すると、雑菌が繁殖し悪臭が発生することがあります。

## 排水について

排水方法は、「ポンプ排水」と「排水口からの排水」の2通りあります。

「ポンプ排水」は、ポンプの保護機能が働いてポンプが停止するまで、「排水口からの排水」は、排水口の位置まで排水できます。  
「排水口からの排水」の方が、残留水は少なくなります。

| ポンプ排水 |                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 1     | 付属の給排水ホースを排水バルブにつなぐ。<br>排水バルブにニップルを取り付け、<br>ワンタッチカプラーで給排水ホースをつないでください。 |
| 2     | 排水バルブを開ける。<br>バルブを反時計回りに 90 度回すと開きます。                                  |
| 3     | 「電源ボタン」を押し電源を入れる。                                                      |
| 4     | 「PUMP ボタン」を押す。<br>排水バルブにつないだ給排水ホースから、<br>排水します。                        |
| 5     | 排水が止まったら、「電源ボタン」を押し<br>電源を切る。<br>水位が下がると保護機能が働き、<br>ポンプは自動停止します。       |
| 6     | 排水バルブを閉める。<br>バルブを時計回りに 90 度回してください。                                   |

### ポンプ排水



排水バルブに  
付属のニップルを  
取り付けます。



ワンタッチカプラーで  
付属の給排水ホースを  
つなぎ、排水バルブを  
開けてください。

| 排水口からの排水 |                                                                                                                      |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1        | 排水口の排水キャップを取りはずす。<br>排水キャップは、レンチなどの工具で取りはずして<br>ください。<br>反時計回りに回すとゆるみます。<br>勢いよく水が出ますので、ご注意ください。                     |
| 2        | 水が止まったら、排水口に排水キャップを<br>取り付け。<br>排水キャップは、レンチなどの工具で取り付け<br>てください。時計回りに回すと、締まります。<br>締め方がゆるいと水漏れしますので、<br>しっかりと締めてください。 |



必ず実施

漏水しても問題ない場所で作業する。

ポンプ排水の場合、給排水ホースの接続を  
確実にこなう。

ポンプが水なし運転（空運転）にならないよう、  
水位をこまめに確認する。

# お手入れのしかた

## 日常のお手入れ

冷却パッドは、空気中のほこりなどを取るフィルターの役割もはたします。

汚れがたまると、冷却能力が低下し、悪臭が発生することもありますので、1週間に1度は掃除をおこなってください。

(汚れの程度により、回数を増やしてください。)

設置環境にもよりますが、正しく取り扱っていただくと、冷却パッドはおよそ2シーズン使用できます。

冷却パッドは消耗部品です。汚れがひどい場合や破損した場合は、新しいものをお買い求めになり交換してください。

(お買い上げの販売店または弊社修理相談受付窓口にご注文ください。)

その他の部位も汚れ具合に応じて、適宜、掃除してください。

| 冷却パッド                                            |                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 冷却パッドが乾いた状態で作業してください。<br>濡れている場合は、送風運転で乾かしてください。 |                                                                                                                                                                                              |
| 1                                                | <b>冷却パッド固定板を本体から取りはずす。</b><br>冷却パッド固定板ネジ（4ヶ所）をはずし、<br>冷却パッド固定板を取りはずす。                                                                                                                        |
| 2                                                | <b>冷却パッドを本体から取りはずす。</b><br>中央の冷却パッドから取りはずします。<br>冷却パッドの上部を手前へ傾け、引き抜くようにして<br>取りはずします。<br>次に、両端の冷却パッドを1つずつ中央方向へ<br>スライドさせ、取りはずします。                                                            |
| 3                                                | <b>冷却パッドを水道水で洗う。</b><br>洗剤や薬品は使用しないでください。<br>冷却パッドは濡れると壊れやすくなりますので、<br>取り扱いに注意してください。                                                                                                        |
| 4                                                | <b>冷却パッドを乾かす。</b><br>冷却パッドを完全に乾かします。<br>乾かしがたが不十分ですと、破損の原因になります。                                                                                                                             |
| 5                                                | <b>冷却パッドを取り付ける。</b><br>取りはずしたときと逆の手順で、向き*1に注意し<br>両端の冷却パッドから1つずつ取り付けます。<br>下部を冷却パッド受け（下）に当て、上部を手前に<br>傾けながら、押し込むようにして取り付けます。<br>その後、外装部内側の両端に当たるまで<br>左右にスライドさせます。<br>次に、中央の冷却パッドを取り付けてください。 |
| 6                                                | <b>冷却パッド固定板を本体に取り付ける。</b><br>冷却パッド固定板ネジ（4ヶ所）で、<br>冷却パッド固定板を取り付ける。                                                                                                                            |



冷却パッドの上部を  
手前へ傾け、  
引き抜くように  
取りはずします。

※ 写真は HP24BX です

| タンク                                                |                                                     |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 冷却パッドを取りはずし、作業してください。<br>(取りはずし方は、左記「冷却パッド1・2」を参照) |                                                     |
| 1                                                  | <b>柔らかいブラシなどを使用し、水道水で洗う。</b><br>洗剤や薬品は使用しないでください。   |
| 2                                                  | <b>掃除に使用した水は、排水口から排水する。</b><br>(10 ページ 排水口からの排水を参照) |

| モーター                                               |                                                                               |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 冷却パッドを取りはずし、作業してください。<br>(取りはずし方は、左記「冷却パッド1・2」を参照) |                                                                               |
| 1                                                  | <b>表面のほこりを掃除機で吸い取る。</b><br>モーターにほこりが溜まると、異常音や振動、<br>過熱の原因になりますので、適宜、掃除してください。 |

| ファン、ファンガード、本体外装部および内部                              |                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 冷却パッドを取りはずし、作業してください。<br>(取りはずし方は、左記「冷却パッド1・2」を参照) |                                                                                                                                            |
| 1                                                  | <b>ぬるま湯か、薄めた中性洗剤をふくませた<br/>柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取る。<br/>最後に、乾いた柔らかい布で乾拭きする。</b><br>ファンやファンガードにほこりが溜まると、<br>異常音や振動、過熱の原因になりますので、<br>適宜、掃除してください。 |

\*1 冷却パッドは「内」記載の面が本体内部に向きます。



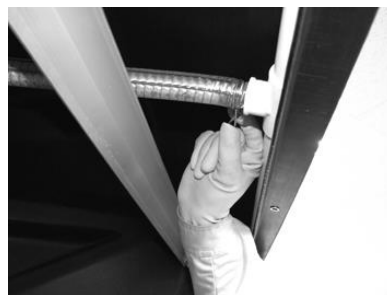
**モーターやファンに直接水をかけない。**  
(防水仕様ではありません)



**電源を切り、電源プラグを抜いてから  
作業する。手袋をはめ、慎重に作業する。**

必ず実施

| 散水パイプ                                                   |                                                                                         |
|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 冷却パッドを取りはずし、作業してください。<br>(取りはずし方は、11 ページ「冷却パッド 1・2」を参照) |                                                                                         |
| 1                                                       | <b>散水パイプからホースを取りはずす。</b><br>クリップをつまむと緩みますので、散水パイプのホース接続口からホースを取りはずしてください。               |
| 2                                                       | <b>本体から散水パイプを取りはずす。</b><br>散水パイプホルダーから散水パイプを取りはずしてください。内部に水が残っていることがありますので、慎重に作業してください。 |
| 3                                                       | <b>柔らかいブラシなどを使用し、水道水で洗う。</b><br>洗剤や薬品は使用しないでください。                                       |
| 4                                                       | <b>本体へ散水パイプを取り付ける。</b><br>ホース接続口が奥になるように、散水パイプホルダーへ散水パイプを取り付けてください。                     |
| 5                                                       | <b>散水パイプにホースを取り付ける。</b><br>ホースに散水パイプのホース接続口を奥までしっかりと差し込み、クリップで留めてください。                  |



クリップをつまんで緩め、ホースを取りはずします。



散水パイプホルダーから散水パイプを取り外します。

## 長期間ご使用にならないとき

| 「日常のお手入れ」とあわせて実施する                                                                                                                      |                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長期間ご使用にならないときは、「日常のお手入れ」をおこなったあと、製品全体を完全に乾かし保管します。散水パイプやホースは、内部まで乾かしてください。下記 1 と 2 は、冷却パッドを取りはずし作業してください。(取りはずし方は、11 ページ「冷却パッド 1・2」を参照) |                                                                                                       |
| 1                                                                                                                                       | <b>本体内部のホースに残った水を捨て、ホース内を乾かす。</b><br>クリップを緩め、ホースを取りはずしてください。ホースの先から水を捨て、内部が乾いてから、クリップで元の位置へ取り付けてください。 |
| 2                                                                                                                                       | <b>タンクの残留水を取り除き、乾かす。</b><br>10 ページの方法で排水したあとの残留水は、手動式灯油ポンプや雑巾などで吸い取り、乾かしてください。                        |
| 3                                                                                                                                       | <b>電源コードをフックに掛け、まとめる。</b>                                                                             |
| 4                                                                                                                                       | <b>ビニールなどの湿気やほこりを通さない物で包む。</b>                                                                        |
| 5                                                                                                                                       | <b>直射日光が当たらない、湿気の少ない清潔な場所で、まっすぐ立てたまま保管する。</b>                                                         |



クリップを緩めホースを取り外し、水を捨ててください。



必ず実施

**本体・冷却パッド共に、完全に乾かしてから保管する。**  
濡れたまま保管すると、サビやカビ、悪臭が発生するおそれがあります。

# 故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。  
記載の対処方法で改善しない場合は、運転を停止し、電源を元から切り、  
お買い上げの販売店またはアメフレック修理相談受付窓口にご相談ください。

| 状態                                                                             | 原因／確認                                                 | 対処方法                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「PUMP ボタン」や、「FAN ボタン」を押しても運転しない                                                | 電源が入っているか確認してください。                                    | 電源プラグをコンセントに差し込み、「電源ボタン」を押し、電源を入れてから操作してください。                                                                                                                   |
| 冷却パッドに水が供給されない                                                                 | 送風運転になっていませんか？                                        | 冷風運転または温度設定運転に切り替えてください。                                                                                                                                        |
|                                                                                | 温度設定運転で、気温が設定温度より低い。                                  | 気温が上昇すると冷風運転が始まります。しばらく様子を見てください。                                                                                                                               |
|                                                                                | ポンプが動いているか確認してください。                                   | <p>① <b>ポンプが動いている場合</b><br/>本体内部のポンプと散水パイプをつなぐホースが、正しくつながっているか確認してください。</p> <p>② <b>ポンプが動いていない場合</b><br/>タンクの水位が適切（水位線まで水がきている状態）であるか確認し、不足している場合は給水してください。</p> |
| 冷風運転の風が冷たくない                                                                   | 周辺湿度が高すぎる。<br>本製品は気化放熱式冷却ですので、湿度が高すぎると冷却できません。        | 設置場所が室内の場合は、換気し湿度を下げてください。<br>屋外の場合は、冷風運転に向かない気象条件ですので、送風運転で使用してください。                                                                                           |
| 泡が発生する/悪臭がする                                                                   | タンクの水や冷却パッドが汚れています。                                   | タンクの水を排水し、掃除してください。<br>冷却パッドを掃除してください。<br>お手入れの回数を増やしてください。                                                                                                     |
| 水が漏れる                                                                          | 排水キャップが緩んでいます。                                        | 排水キャップをしっかりと締めてください。                                                                                                                                            |
|                                                                                | 排水キャップのパッキンに不具合はありませんか？                               | 紛失や破損している場合は、パッキンを交換してください。                                                                                                                                     |
| 振動や異音がする                                                                       | 冷却パッドが目詰まりしていませんか？                                    | 冷却パッドを掃除してください。<br>汚れがひどいときは、交換してください。                                                                                                                          |
|                                                                                | 冷風機の背面に十分なスペースがありますか？                                 | 壁面などから1m以上離して設置してください。                                                                                                                                          |
| 電源を入れたとき、異常動作がおきる<br><br>「PUMP」と「TEM」のランプが点灯する。<br>ポンプが運転し「PUMP」ボタンを押しても停止しない。 | 「温度設定運転」を停止するときに、「TEM ボタン」を押さず「電源ボタン」を押して、停止しませんでしたか？ | 「TEM ボタン」を押してから「電源ボタン」を押し、電源を切ります。その後、再度、電源を入れてください。                                                                                                            |

次のような場合は故障ですので、修理を依頼してください。

| 状態                  | 原因／確認           | 対処方法                         |
|---------------------|-----------------|------------------------------|
| 「OVERLOAD ランプ」が点滅する | モーターが過負荷になっています | 運転を停止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。 |

# 保証とアフターサービス

## 保証条件

### 1 無償保証期間および範囲

本製品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。  
保証期間内に取扱説明書にしたがって、正常な使用状態で生じた故障は、無償で修理または交換いたします。  
ただし下記に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

### 2 保証できない範囲

- (a) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障や損傷
- (b) 異常電圧・火災・地震・雷・風水害、またはその他天災地変などの外部要因による故障や損傷
- (c) 過酷な条件のもとで使用され生じた故障または損傷（塩害など）
- (d) 冷却パッド（消耗品）の交換

### (e) その他

据付、運転、調節、保守上常識となっている内容を逸脱した使用方法での事故は、一切保証できません。  
また本製品の事故に起因した営業補償等の2次補償はいたしませんので、損害保険で対処してください。

保証期間後の修理は、お買い上げの販売店またはアメフレック修理相談受付窓口へご相談ください。  
修理により機能が維持できるときは、ご要望により有償修理をいたします。

## アフターサービス

不具合品の修理は、お買い上げの販売店またはアメフレック修理相談受付窓口（下記記載）へご相談ください。  
出張修理はおこなっておりません。  
お電話でご連絡いただいたのち、不具合品を弊社修理相談受付窓口へお送りください。修理後、返却いたします。

### 修理のながれ

|   |        |                                                                                                                           |
|---|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 受付     | お買い上げの販売店または弊社修理相談受付窓口にて修理をご依頼ください。<br>受付時に、品名型式・不具合の内容・お客様情報（ご連絡先など）をお伺いいたします。                                           |
| 2 | 不具合品発送 | お客様ご自身で梱包いただき、弊社修理相談受付窓口宛てに不具合品をお送りください。<br>保証期間内の製品につきましては、代金弊社着払いをご利用ください。<br>保証期間外の製品につきましては、ご発送時の送料/諸掛りはお客様のご負担となります。 |
| 3 | 修理     | 一般的な修理の場合は修理品到着後 7～10 営業日が目安となりますが、<br>修理内容によりそれ以上のお時間をいただく場合がございます。                                                      |
| 4 | お届け    | 無償保証に該当する修理につきましては、返送時の送料は弊社負担とさせていただきます。<br>保証期間外や有償となる修理の場合、送料/諸掛りはお客様のご負担となります。                                        |

### 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら（13 ページ）」を参考にもう一度、製品をお調べください。  
それでも異常があるときは、ただちに電源を切ってください。  
お買い上げの販売店もしくは弊社修理相談受付窓口へ、次の内容をお知らせください。

- 1. 冷風機の型式：HP24BX / HP36BX
- 2. 製造番号 [電源コードの横にある銘板に記入してあります]
- 3. 不具合の内容（具体的に）
- 4. お客様情報（会社名・お名前・電話番号・住所）

| アメフレック修理相談受付窓口    |                      |
|-------------------|----------------------|
| 電話番号：06-6438-8111 | 受付時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時 |

# 仕様

|                       |                                          |                                           |
|-----------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 型式                    | HP24BX                                   | HP36BX                                    |
| ファン径                  | 630 mm (24 インチ・6 枚羽根)                    | 900 mm (36 インチ・3 枚羽根)                     |
| 風量<br>(50～100 %で調節可能) | 9,500 m <sup>3</sup> /h<br>(100%に設定したとき) | 19,300 m <sup>3</sup> /h<br>(100%に設定したとき) |
| 有効貯水量                 | 115 L                                    | 200 L                                     |
| 電源                    | 単相 100 V 50/60 Hz                        | 単相 100 V 50/60 Hz                         |
| 定格出力                  | ファンモーター : 370 W<br>ポンプ : 120 W           | ファンモーター : 370 W<br>ポンプ : 120 W            |
| 外形寸法                  | W1280 × D650 × H1515 mm                  | W1600 × D780 × H1800 mm                   |
| 製品質量                  | 84 kg                                    | 105 kg                                    |
| 付属品                   | 給排水ホース 6m<br>(ニップル、ワンタッチカプラー付)           | 給排水ホース 6m<br>(ニップル、ワンタッチカプラー付)            |

後日のために記入しておくと便利です

|                                                                             |      |
|-----------------------------------------------------------------------------|------|
| お買い上げの販売店                                                                   | 電話番号 |
| お買い上げ日                      年                      月                      日 | 製造番号 |

輸入販売元                      株式会社 アメフレック  
                                          兵庫県尼崎市水堂町 2 -40-10

TEL    06-6438-8111

FAX    06-6438-8188